

当科にて矯正治療を受けられた患者様へ

現在、当科は「AngleⅢ級（下顎前突）症例における動的治療後の安定性」という研究を行っています。これは、本格矯正治療を終えた患者様の術後安定性を評価するための研究です。以下の内容をご確認ください。

1. 調査の対象は、当科にて本格矯正治療を行った方のうち、下顎前突の診断を受け、1989年2月～2001年4月の間に本格矯正治療を行い、治療終了後二年以上経過している方です。
2. 年齢、性別、治療期間、治療前後のX線写真による分析・模型などを用いて調査担当医師が対象となる症例調査票を作成します。
3. 症例調査票には、住所、氏名などの患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。なお、本研究は東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ています。
4. 本研究の成果は学会や科学専門誌などに使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報が公表されることなく、個人情報を守られます。
5. 本研究について質問あるいは疑問がある時はいつでも下記担当医、あるいは矯正歯科受付にご連絡ください。

研究代表者 末石研二
研究分担者 吉住淳

お問い合わせ 東京歯科大学矯正歯科受付
TEL 043-270-3903